

質問 2-1 大戸川ダムの代替案とその内訳を教えてください。

(回答)

- 大戸川ダムの代替案としては、①淀川本川の河床掘削、②淀川本川の橋梁架替、③天ヶ瀬ダムの容量増強、④大戸川筋の遊水地整備、の4案について、検討を実施しています。それぞれの試算結果は次のとおりです。
- 淀川本川の河床掘削については、大戸川ダムの水位低減効果と同じ効果を得るために、淀川本川の4k~10k区間で約230万 m^3 の河床掘削(約310億円)と、それに伴い補強を要する9橋梁の橋脚補強(約400億円)を実施することとなり、約710億円の費用が必要となります。なお、橋脚補強(約310億円)については、将来的に架け替えが必要な橋梁であるため、二重投資となります。
- 淀川本川の橋梁架替については、大戸川ダムの水位低減効果と同じ効果を得るために、局所的に流下能力が不足する淀川本川9橋梁の架替を実施することになり、約4,100億円の費用が必要となります。
- 天ヶ瀬ダムの容量増強については、大戸川ダムで貯留する量の代替容量として728万 m^3 を天ヶ瀬ダムで貯留するために、天ヶ瀬ダムを約530万 m^3 掘削することとなり、約1,500億円以上(有効容量内の約95万 m^3 の掘削を含まない。)の費用が必要となります。
- 大戸川筋の遊水地整備については、大戸川ダムで貯留する量の代替容量として728万 m^3 を大戸川筋の遊水地で貯留するために、約813万 m^3 の容量を備えた遊水地を整備することとなり、約2,070億円以上(上流部に確保可能な592万 m^3 を対象。)の費用が必要となります。

(関連資料)

- 平成19年11月26日 第67回淀川水系流域委員会 審議資料1-3-4
<http://www.yodoriver.org/kaigi/iin/index.html#67th>
- 平成20年1月9日 第70回淀川水系流域委員会 審議資料1-2
<http://www.yodoriver.org/kaigi/iin/index20.html#70th>
- 平成20年7月15日 近畿地方整備局
平成20年度第1回事業評価監視委員会 資料No.4
<http://www.kkr.mlit.go.jp/plan/zigyohyoka/index-2008-01.html>

